

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

1. 総論・基本構想（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
総論・基本構想	2	2. 計画の役割と位置づけについて	-	-	計画の役割と位置づけについて (3) 町民、事業者、行政が一体となって行うまちづくりについてその在り方、期待する方向性を明らかにしますとありますが、今回の8次総合計画（素案）にあたっては一体となってとは言えないと思います。一体感が感じられないと思います。時間や経費等色々な状況があると思いますが、一体となる関わり合いをつくって頂きたいと思います。	本計画案でお示ししているとおり、今後は町民、事業者、行政が一体となってまちづくりを推進できるようなパートナーシップの構築が重要と考えておりますので、ご意見も踏まえ各主体との関係性を深めるよう努めてまいります。
総論・基本構想	3	3.計画の構成	-	-	・総合計画は「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」の3部構成になると記載されているが、「実施計画」がない。いつ作成するお考えか。2月8日のパブリックコメントの切後に作成して、新年度に間に合うのか。11月の「いわて県民計画第2期アクションプラン（素案）」の説明では、10の政策推進プラン毎に具体的な推進方策の目標値（項目のみ）と合わせ、工程表（ラフではあるが）が示されています。せめて県のレベルにしていれば計画の相互関係、完了時期もみえてきます。	実施計画につきましては、法令等に基づき策定された各施策分野別に定める行政計画をもって位置付ける構成としております。具体的な推進方策や目標値、工程表等は、各分野別計画の中で定めるものとなります。
総論・基本構想	4	2.まちの将来像	-	-	・4つの将来像の説明が抽象的すぎないか。広く町民に理解がいただけるよう具体的な表現に変えるべきでは。少なくとも小学校5, 6年生の大半が理解できるレベルにした方が良い。何故なら、本総合計画が完了する頃には成人され、社会を担う人になっているから。他人ごとではなく、自分事として捉えていただきたい。 例「常に新しい風が生まれ続ける」、「未来に希望を抱く人が集い」…どのような状態を意味するのかが分かりにくい。人によってとらえ方が違う→誤解を生む	8年後の将来像は具体的な形で規定するよりも、あえて想像の余地を残す抽象的なフレーズの方が望ましいと考えております。「新しい風」等の比喩的表現につきましても、小学校高学年程度であれば概ね理解可能な範囲と思われまます。
総論・基本構想	5	3.目標人口	-	-	「関係人口」について ・施策の方向が違うと思う。関係人口は、矢巾町のファンづくりとも考えられる。ふるさと会等の活性化や矢巾町に関心をもってもらえる活動をどう展開するかによると考える。	関係人口は、町のファンづくりと捉える見方もありますが、人口減少対策の観点からは定住人口の前段階に相当するものであることから、本計画では定住人口に準ずるものとして位置づけております。
総論・基本構想	6	5.施策の大綱	-	-	・4つの「施策の柱」について 大綱とは言え、表現があまりに抽象的すぎるのではないかと。人によって理解が異なりやすい。曖昧な、あるいは、抽象的な表現はできるだけ避けるべきと考える。今の大人だけではなく、8年、10年後に成人し、社会人になる子供たちも理解できる表現にすべきと考える。その後の矢巾町を支える人は誰かも考慮すべきではないかと考える。	施策の柱は基本計画における各施策を推進する上での基本的な方針を示したものであり、多種多様な施策群から理念的なレベルで共通要素を抽出してまとめたものですので、抽象的になることはやむを得ないものと認識しております。計画の目指す方向性は小学校高学年でも概ね理解できるものと思われまますが、実際の施策推進においても子どもたちに分かりやすい事業実施に努めてまいります。
総論・基本構想	8	第3章 前期基本計画	-	-	「3. 計画推進にあたり」について ・PDCAサイクルやOODAサイクルの説明になっているが、あまり意味のない説明と考える。 必要なのは、計画がうまく進まない状況に陥ったら、速攻で、何故そうなったのか原因を探り出し、解決策をたて、実行・改善し続けることではないのか。適宜いろいろな手法を駆使すれば良いのではないのか。 また、指標進捗状況の確認は、日々、週番、月次、四半期、半期、1年いつでもできます。 要は、日々の業務において、問題点を放置することなくその原因と解決策を探り、目標に向けて真摯に取り組むことだと思います。問題発見の都度、いつでも、何度でも成功するまで取り組むことです。	計画推進にあたっては、基本にご提言と同様の方向性での運用を想定しております。1年単位でのPDCAサイクルを原則としつつ、随時必要に応じて進捗状況の確認や問題への対処、計画修正などに対応していく考えです。
総論・基本構想	8	第3章 前期基本計画	-	計画の推進にあたり	計画の推進にあたりについて 原則として1年ごとに指標進捗状況に基づき評価と効果検証を行うとありますが、行政だけで行うのでしょうか？ 色々な視点で評価と検証をする必要があると思うので、ぜひ地元事業者、地域の人を入れて行って頂きたいです。	評価と効果検証に関しては、行政当局で原案を作成の上、町議会や町民の皆様にご意見をいただく形を想定しておりますが、その過程で色々な方々の意見を聞くことが望ましいものと考えます。

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	まちづくりの指標	単発イベントやお祭り等の数日間の事業では産業ベースの長期的振興は不可能であると存じます。鎖国的な町内循環にとどまらず、広域的かつ継続的な経済循環を促進する為には、多くの産業が沸き立つレベルの戦略を仕掛ける必要があります。ゆえに、その戦略の指標はイベントの回数ではないはずです。 せっかく掲げたSDGsの観点で戦略を見直すとするならば、企業育成面でNo9の技術革新とNo17を前面に採り、誘致企業や外部企業、団体とパートナーシップを重要視した指標とすべきと存じます。町内企業が成長出来る戦略を指標としてこそ、沸き立つ好循環になると思います。好循環への道筋には人材育成とパートナーシップは欠かせないと思います。また働き甲斐は掲げた錦の御旗の道筋の道中拠点と、達成地にあるはずです。 【指標として掲げて欲しいこと(短文化ok)】 1)町内企業と町内外企業とのパートナーシップ(連携)の為の交流会等の開催(数と質) 2) 町内企業の産物の採用と販促開発(netメディア等)の新しい取組への支援(数と質)	ご意見を踏まえ、「まちづくりの指標」を以下のとおり修正します。 <u>企業間連携の促進を図るための交流会などの実施件数</u> 現状値（令和5年度） <u>1</u> 目標値（令和9年度） <u>10</u>
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	施策の方向	行政の購買や公共事業発注を地元業者への優先発注することにより、法人の固定資産税・法人税の増収を目指すことが好循環につながる。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	まちづくりの指標	イベント回数は本質的な指標ではなく、法人納税額や官民、民民の町内循環消費額などを指標とすべき。	参考意見として承ります。
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	現況と課題	地域内での雇用者所得が地域外へ流出している傾向がある→どのように捉えているのかが重要だと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	現況と課題	何が地域外へ流出しているのか？町内で消費する地物を地元で消費も必要だが、地元で消費するものを地元で作る考え方が必要ではないでしょうか？地域の必要なものを地元企業で創ることにより好循環に繋がると考えます。	ご意見を踏まえ「現況と課題」について以下のとおり修正します。 当町の地域経済循環図によると、地域内での雇用者所得が地域外へ流出している傾向が <u>あります</u> 。 町内の経済循環を高めるため、地域資源を最大限活用し、町内で消費する地産地消を促進するほか、 <u>地域で消費するものを地域で生産する地産地消の取り組みも必要です</u> 。
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	施策の方向	何が地域外へ流出しているのか？町内で消費する地物を地元で消費も必要だが、地元で消費するものを地元で作る考え方が必要ではないでしょうか？地域の必要なものを地元企業で創ることにより好循環に繋がると考えます。	ご意見を踏まえ「現況と課題」を上記のとおり修正します。
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	施策の方向	施策①-1 5 特産品の開発支援の課題に特産品が少ないと書いてあるように、地域内で消費につながる物がない状況で促進はできないと思います。いわゆる、立派な店があるがメニューがない状態だと思います。以前よりは、地域内で消費したいと思う方は多くなったし求める声は聞こえます。地域の企業、地域資源を育てることは考えないのでしょうか？できないことを官民一体となることで実現できることもあると思います。その経験、知識が地元企業を育てることになり地元消費が増え税金を払い町内で回る仕組みになり好循環につながると思います。	ご意見を踏まえ「施策の方向」について以下のとおり修正します。 企業と企業、企業と顧客・消費者をつなぎ、地域内で消費促進につながるような機会の創出や、 <u>地域資源を活用した新商品の開発支援など</u> 、ヒト・モノ・カネが円滑に回り続ける持続可能な地域経済循環の実現を図ります。
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	施策の方向	町内の公共工事も、商品の発注先も地域の資源だと思います。地元企業を優先的に使うことも循環につながると思います。地元の企業に頼まない、入札すら声がかからないという声も聞こえています。もちろん、企業の努力不足もあると思います。しかし、面積が狭い矢巾町で公共工事が少ない所より多い市町村に市場を変えるという企業も出てくると思います。他地域に移転して税収は減る、またできないことが多くなりまた他の地域の企業に頼るといふ悪循環になる。地域経済の衰退につながると思います。ぜひ、好循環の矢印をいい方向に変えて頂きたいと思います。	中小企業振興基本条例の基本方針にも「町が行う工事の発注、物品及び役務の調達等に当たっては、予算の適正な執行及び透明かつ公正な競争に留意しつつ、中小企業者の受注機会の増大に配慮すること」と明記していることから方針に則り引き続き取り組んでまいります。

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	3	①-1	地域経済の好循環の構築	まちづくりの指標	イベントの回数を指標にすると目標値が分かりやすいのはわかります。しかし、単発のイベント等の事業では好循環につながらないと考えます。長期的につながる産業のが必要だと思えます。町内企業が成長できる戦略を指標として欲しいです。一企業だけでは研究、開発に取り組めない状況です。官民学のパートナーシップが必要と考えます。 例えば、町内企業の産物の採用と商品、サービス開発の数など	ご意見を踏まえ「まちづくりの指標」をイベント回数ではなく、町内企業におけるパートナーシップ構築につながるような交流会件数に修正します。 <u>企業間連携の促進を図るための交流会などの実施件数</u> 現状値（令和5年度） <u>1</u> 目標値（令和9年度） <u>10</u>
前期基本計画	4	①-2	大きな伸び代のある地域産業の更なる活性化	現況と課題	「農業やヘルスケア産業等」と限定するよりも「本町の輝く未来を目指す企業や新産業」や更に伸び代のあると考えられる産業分野に於いて、・・・としていただければ施策の方向が更に広い分野に生きてくと存じます。	ご指摘の点については、現状の土地利用や施設の集積状況等を踏まえ、「農業」、「ヘルスケア産業」といった具体的な産業分野を例示しているため、【現況と課題】については、原案通りとさせていただきます。
前期基本計画	4	①-2	大きな伸び代のある地域産業の更なる活性化	全般	当町のポテンシャルを総合計画年度の8年ではなく20年30年の長期的ポテンシャルではかりたいものです。その意味に於いて前項で述べたパートナーシップの戦略で云えば、マッチング戦略は大変良い施策の方向だと思います。（気になる点：事業者は役所言葉？⇒企業等）	総合計画（前期基本計画）は、性質上、中期的な計画となりますが、さらにその先を見据えた長期的な展望を持って事業を実施してまいります。
前期基本計画	4	①-2	大きな伸び代がある地域産業のさらなる活性化	現況と課題	農業に伸び代があるのかが疑問です。→田んぼを宅地にしている矢巾町で伸び代があるのでしょうか？面積が小さい矢巾町で土地の観点から伸び代があるのかが疑問です。農業を否定しているのではなく、伸び代があるのかが疑問を感じております。課題としては、農業従事者の平均年齢は？10年後、20年後のこのままいったら平均年齢は？とか考えると課題は違ってくるのではないのでしょうか？	国策としての食糧安保の観点から、当町においても農業は伸び代がある産業であると考えております。 なお、後段については、国全体が少子高齢化の流れにあり生産年齢人口が減少していく中で、その対策として、後述している施策①-3の農業従事者と後継者の確保であったり、①-4の農業経営近代化の推進であったり施策①-5農福連携による雇用の促進を行ったりしながら、課題に対応していくべきものと捉えております。 よって、【現況と課題】、【施策の方向】ともに原案どおりとさせていただきます。
前期基本計画	4	①-2	大きな伸び代がある地域産業のさらなる活性化	現況と課題	矢巾町にとってヘルスケア産業とはなんですか？	スポーツ関連産業等を連携した健康増進サービス、大学等との連携による予防・治療に係る技術開発や研究等と捉えております。
前期基本計画	4	①-2	大きな伸び代がある地域産業のさらなる活性化	施策の方向	農業はこれから矢巾町だけではなく日本全体で考えても大変重要な産業だと思います。日本の食料自給率は34%と言われております。今ではもっと低いのかもかもしれません。66%は輸入に頼っています。輸入できている現在はいいかもかもしれませんが、世界情勢の変化により輸入できなくなることもあると思います。その位重要な産業だと思います。なので矢巾町で自給できるだけではなく、全国に必要とされる、また配送できる仕組みが必要ではないかと考えます。このようなことを考えると実績のある事業者とのマッチング等には、施策の方向ではないのではないのでしょうか？	国全体が少子高齢化の流れにあり生産年齢人口が減少していく中で、農業に限らず、全産業において従事者の高齢化による問題が顕在化していくことが見込まれます。その"障壁"への対応策の一つとして、複数の事業者が"一つのかたまり"となって事業を行うことは有効な手法であると考えております。【現況と課題】、【施策の方向】ともに原案どおりとさせていただきます。
前期基本計画	4	①-2	大きな伸び代がある地域産業のさらなる活性化	施策の方向	支援の仕方が大事だと思います。機械等のお金の支援だけではなく、ニーズに合わせて作付け等の支援も必要を考えます。	事業実施上の参考とさせていただきます。

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	4	①-2	大きな伸び代がある地域産業のさらなる活性化	まちづくりの指標	マッチング成立件数で良いのでしょうか？	ご指摘の点については、計画期間を踏まえた短期的な指標として「企業体設立または事業者マッチング成立件数」を設定しているため、原案のとおりとさせていただきます。 ただし、中長期的には、事業化、収益化とつながっていくことが重要となりますので、事業実施にあたっては先を見据えた視点で取り組んでまいります。
前期基本計画	4	①-2	大きな伸び代がある地域産業のさらなる活性化	SDGsゴールとの関わり	17 パートナシップで目標を達成しようを入れてはどうでしょうか？	ご意見のとおり、17を加えます。
前期基本計画	5	①-3	農業従事者と後継者の確保	現況と課題	現況視点で本町産業を長期展望で見た場合に農業が本当に基幹産業と位置付ける政策で良いのか？従事者数と生産高でみれば基幹ではないので別戦略をとるのが妥当と考えます。しかし重要であり、課題も記載の通りです。企業化への道筋が課題であり施策の方向でもあります。	食料生産を担う第一次産業は本町においても重要な役割を果たしていると考えます。基幹産業の定義については様々な考えがあることは理解しておりますが今回の総合計画においては修正なしとさせていただきます。
前期基本計画	5	①-3	農業従事者と後継者の確保	現況と課題	「本町の基幹産業である農業・・・」という記述がある。 現在、本町の基幹産業はサービス業などであり、農業ではない。「本町の基幹産業であった農業・・・」と修正すべきである。	食料生産を担う第一次産業は本町においても重要な役割を果たしていると考えます。基幹産業の定義については様々な考えがあることは理解しておりますが今回の総合計画においては修正なしとさせていただきます。
前期基本計画	5	①-3	農業従事者と後継者の確保	現況と課題	本町の基幹産業が農業なんのでしょうか？リーサスを見て頂きたいです。本町の基幹産業は卸売、小売業ではないのでしょうか？	食料生産を担う第一次産業は本町においても重要な役割を果たしていると考えます。基幹産業の定義については様々な考えがあることは理解しておりますが今回の総合計画においては修正なしとさせていただきます。
前期基本計画	5	①-3	農業従事者と後継者の確保	施策の方向	全国でも新規就農者が減少傾向である。令和3年から令和4年で12.3%減少、49歳以下は8.4%減少しています。全国でも厳しい状況がある中で矢巾町として独自性、思い切った施策が必要だと思えます。プラス継続できる高付加価値のある農産物を作り儲かる農業、自立できる環境を創ることが必要だと思えます。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	5	①-3	農業従事者と後継者の確保	施策の方向	後継者の確保、新規就農者には売り先の確保することも必要なので、地元企業の食品関係とマッチングすることも大事だと思えます。自分達で値段をつけれるような売り先や農産物ができれば新規就農者が増えると思えます。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	6	①-4	農業経営近代化の推進	現況と課題	本町の基幹産業である農業 ⇒ かつては本町の基幹産業であった農業	食料生産を担う第一次産業は本町においても重要な役割を果たしていると考えます。基幹産業の定義については様々な考えがあることは理解しておりますが今回の総合計画においては修正なしとさせていただきます。
前期基本計画	6	①-4	農業経営近代化の推進	まちづくりの指標	町が近代化農業のあるべき姿を示したのちに、現状との差異が課題であり指標と存じます。	参考意見として承ります。
前期基本計画	6	①-4	農業経営近代化の推進、施策	現況と課題	「本町の基幹産業である農業・・・」という記述がある。 現在、本町の基幹産業はサービス業などであり、農業ではない。「本町の基幹産業であった農業・・・」と修正すべきである。	食料生産を担う第一次産業は本町においても重要な役割を果たしていると考えます。基幹産業の定義については様々な考えがあることは理解しておりますが今回の総合計画においては修正なしとさせていただきます。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	6	①-4	農業経営近代化の推進	現況と課題	本町の基幹産業が農業なんですか？温暖化による環境の変化も課題なのではないでしょうか？農家の方から聞くのが外部環境（霜や気温の高さ、雪の減少等）に左右されることが多くなった。環境の変化に対応できずに赤字になるケースがあるそうです。 農業経営の本質的課題を出さないと施策の方向が変わってくるのではないのでしょうか？農業は、儲からないため経営として成り立たないケースが多く、雇用できないのが現状だと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	6	①-4	農業経営近代化の推進	現況と課題	就農者が減少はわかりますが、どうして減少しているのか？が課題になるのではないのでしょうか？	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	6	①-4	農業経営近代化の推進	施策の方向	経営の近代化とはどういうことをいうのでしょうか？	必要とする機械等は個々の経営規模等によって異なりますが、大きく作業効率の向上、高収益品質向上及び収量向上に向けた機械整備等と考えております。
前期基本計画	6	①-4	農業経営近代化の推進	施策の方向	農産物ブランド化が必要だと思います。独自性があり、買い手が欲しがるとようなブランド化が必要だと思います。矢巾町産でないといふだと思われるような農産物が必要だと思います。ただブランド化するのではなく、矢巾町の環境の特性、土、農法など矢巾町だからできる農産物、また矢巾町産だから欲しいと思われる農産物を作ることがブランド化だと考えます。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	7	①-5	農福連携による雇用の促進	現況と課題	意には賛同しますが、農業は矢巾町の基幹産業ではありません。また小面積地ゆえ高効率の戦略でなければ産地間競争で優位に立てず、従事者は日の目を見れない戦略になります。一般に農業は健常者でさえも体力的に難儀です。まして障害者にはなおさらです。更に農福連携は通年生産と小規模多品種戦略が重要です。経営視点で言葉の優しさに惑わされない厳しく綿密な計画が重要です。その上で支援の方向性や指標を立てるべきと存じます。	食料生産を担う第一次産業は本町においても重要な役割を果たしていると考えます。基幹産業の定義については様々な考えがあることは理解しておりますが今回の総合計画においては修正なしとさせていただきます。 農福連携については意見として承ります。
前期基本計画	7	①-5	農福連携による雇用の促進	現況と課題	「本町の基幹産業である農業・・・」という記述がある。 現在、本町の基幹産業はサービス業などであり、農業ではない。「本町の基幹産業であった農業・・・」と修正すべきである。	食料生産を担う第一次産業は本町においても重要な役割を果たしていると考えます。基幹産業の定義については様々な考えがあることは理解しておりますが今回の総合計画においては修正なしとさせていただきます。
前期基本計画	7	①-5	農福連携による雇用の促進	現況と課題	本町の基幹産業は農業であるのか？農福と一緒に考える話ではないのではないのでしょうか？担い手がいなから福祉？結びつかない気がします。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	7	①-5	農福連携による雇用の促進	施策の方向	農作業は、働く環境が他の職業と比べて過酷な分野だと思います。なかなか、福祉施設入所者とのマッチングは難しい気がします。事例があって、都市で働いていて人間関係や働く環境でうつ病など発症した方が自然に溢れ、一人作業ができる環境で農業を選んだ方がいます。心の拠り所として農業をする考え方も必要だと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	8	①-6	有害鳥獣被害対策の推進	現況と課題	・農業は本町の基幹産業ではありません。（基幹：おおもと → 基幹産業：産業のおおもと）	参考意見として承ります。
前期基本計画	8	①-6	有害鳥獣被害対策の推進	まちづくりの指標	被害額は自然の成り行きと対象動物の行動で決まるのであり、想定するものではありません 指標として掲げるのであれば、電柵や監視カメラの設置の数量や自動追い払い装置の設置数、警備保障会社との取り組みなどの行動目標を入れるべきと存じます。	農作物を守るための指標であるため、原案のとおりとさせていただきます。ご指摘の点は、その手段へのご提言と捉え、引き続き効果的な対策を講じてまいります。
前期基本計画	9	①-7	農業者年金の加入促進	現況と課題	令和5年の実績からみると、本当に必要とされているのかと云う根本を捉えるべきと存じます。これだけ少数派なのはそれなりの理由があり、補助政策で取り組むべきことなのかと思います。他にやるべきことがあるのではないのでしょうか。課題の捉え方で方針が決まるので重要です。	認定農業者かつ青色申告者等の一定要件を満たす方には保険料の国庫補助がありますが、基本的には自ら積み立てた保険料とその運用益により年金額が決まる積立方式・確定拠出型の制度です。国民年金に上乗せの年金制度となりますが、担い手農業者が老後の備えとして加入し、安心して農業に取り組むことができるよう、町として重要な施策であると捉えています。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	9	①-7	農業者年金の加入促進	まちづくりの指標	前期4年間で4人増えることは1人/年であり、令和5年の1人/年と変化が無いのでしょうか。	農業者年金は国民年金(国保加入者等)への上乗せの年金制度ですので、農業経営の法人化が進む本町の農業者は厚生年金(社保加入者等)対象の方が増えると見込まれますが、一定数の農業者年金対象者や後継者も見込まれることから、その支援施策としてこれまでの加入状況を勘案して設定したものです。
前期基本計画	10	①-8	企業誘致の更なる推進	施策の方向	企業誘致は地域間競争に於いて、争奪戦の様相を呈しています。中でも立地条件やアクセスに関して当町は魅力的な町であります。一方で当町は農地優先策に押されて本気で誘致が出来ない弱点があります。人手不足の激化を招く反面で既存企業とのパートナーシップ構築の可能性という相乗効果も出て来ます。ぜひ思い切った手段をとって進めて欲しいものです。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	10	①-8	企業誘致のさらなる推進	まちづくりの指標	「接触企業数」は手段であり本質的ではない、「誘致企業数」とすべきである。	ご指摘の件については、用地確保等の時間軸を踏まえ、前期基本計画の指標を設定いたしました。指標は原案通りとさせていただきますが、積極的な活動による企業誘致の実現に努めてまいります。
前期基本計画	10	①-8	企業誘致のさらなる推進	現況と課題	課題はありますが、現況が文面に入っていないと思います。	ご意見を踏まえ、「市街化区域内の産業系（商業系、工業系）の用途に指定されている区域や、市街化調整区域内の工業団地は、その大半が利用されてる状況にあります。」と追記します。
前期基本計画	10	①-8	企業誘致のさらなる推進	現況と課題	企業誘致は、将来の本町の財政面でも必要だと考えます。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	10	①-8	企業誘致のさらなる推進	現況と課題	大小関係なく、町民が豊かになる企業誘致であればいいと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	10	①-8	企業誘致のさらなる推進	施策の方向	人口3万人構想に直結することだと思います。このまま何もなかった場合、本町として衰退していくと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	10	①-8	企業誘致のさらなる推進	施策の方向	ただ、誘致したことによって地元企業に不利になることもありますので、誘致する際は、まちづくりを考えたどんな街でありたいか？+今のことだけ考えるのではなく、未来の住む人たちに感謝されるような誘致、まちづくりを施策の方向にして欲しいです。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	10	①-8	企業誘致のさらなる推進	SDGsゴールとの関わり	17 パートナーシップで目標を達成しようを入れてはどうでしょうか？	ご意見のとおり、17を加えます。
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	まちづくりの指標	「現状と課題」と「施策の方向」までは賛同で致します。しかし指標という行動目標が曖昧であり、課題の解決が施策によって達成しように無い指標と感じられてなりません。中小企業振興の推進に於いて、中小企業の経営力強化は矢巾町企業連絡会の研修事業だけでは達成は不可能です。本件に関しては1項目の指標では達成できないので少なくとも、2項目程度の指標が必要と存じます。 例：1)中小企業支援団体の研修等(大小企業混在は工夫すべき) 2)新事業の開発と革新への支援数 など	ご意見を踏まえ「まちづくりの指標」を以下のとおりに修正します。 町が主催及び共催で実施する研修事業の件数 現状値（令和5年度） <u>7</u> 目標値（令和9年度） <u>40</u>
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	施策の方向	矢巾町中小企業振興基本条例に基づき、令和5年3月27日に制定された「矢巾町中小企業振興基本計画」の実施期間は「令和5年度から令和8年度までの4か年」とある。よって、「矢巾町中小企業振興基本計画」を計画的に推進することを記述すべきである。	ご意見を踏まえ「施策の方向」を以下のとおりに修正します。（下線部分追記） 令和5年3月に策定した「矢巾町中小企業振興基本計画」に基づき、 <u>中小企業振興を計画的に推進するため、町民に向けて…</u>
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	現況と課題	中小企業基本条例の目的は、基盤の強化及び健全な発展を促進し、本町経済の発展及び町民生活の質の工場に寄与すること	条例の目的にそって推進できるよう地域一体で取り組んでまいります。
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	現況と課題	中小企業の役割について、地元企業、町民等への理解促進が必要ではないでしょうか？	ご意見のとおりであることから「現況と課題」に記載しております。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	現況と課題	物価高騰、資材の不足、賃上げ、世界情勢の変化等により経営が厳しい状況なことが課題ではないでしょうか？	ご意見のとおりであることから「現況と課題」に「社会的な変化に対応のうえ」と表現させていただいております。
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	施策の方向	地域内で共有と促していく仕組みが必要だと思います。ソーシャルビジネスの推進や高付加価値の新規事業や開発に支援が必要だと思います。	ご意見のとおりであることから「施策の方向」に「地域内で共有」と表現させていただいております。
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	施策の方向	地元企業のさらなる連携も必要だと思います。地域の課題は山積しており、一社でできないことが多いことから連携して事業をすることも必要だと思います。中小企業振興計画に「オールやばばで実現する」が表紙にあるのでぜひ。	ご意見のとおり「地元企業のさらなる連携」については「企業間連携」という表現にさせていただいております。引き続き中小企業振興基本計画の施策についてオールやばばの精神で取り組んでまいります。
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	まちづくりの指標	矢巾町企業連絡会は、地元企業の参加が少ないため、矢巾町内企業とかにしてはどうでしょうか？	ご意見を踏まえ「まちづくりの指標」を以下のとおりに修正します。 <u>町が主催及び共催で実施する研修事業の件数</u> 現状値（令和5年度） <u>7</u> 目標値（令和9年度） <u>40</u>
前期基本計画	11	①-9	中小企業振興の推進	SDGsゴールとの関わり	施策の方向に連携が入ると 17 パートナーシップで目標を達成しようを入れた方がいいと思います。	ご意見を踏まえ追加させていただきます。
前期基本計画	12	①-10	産学官連携による新事業の創出	現況と課題	長期展望で見る視点では賛同いたします。しかし現状は取組みが大変困難な状況にあります。産技単は2年カリキュラムの中で基本を学ぶことで精一杯であり、岩手医大との連携となれば町内企業の対象者はほぼ皆無状態です。不來方高校は進学校であり、連携による新技術や新商品の開発には向かないと存じます。本件は耳障りの良い言葉ですが現状の在町の学では不可能でしょう。別面でインターンシップ等の職業観の醸成に視点、力点を変えるべきと存じます。	ご意見を踏まえ「現況と課題」について、町内教育機関を例示せず、以下のとおりに修正します。 <u>町内企業における生産性向上や技術力強化、新事業創出を図るため、大学などの教育機関との共同研究を含め、産学官金連携体制の強化が必要</u> です。
前期基本計画	12	①-10	産学官連携による新事業の創出	まちづくりの指標	課題に大きな問題、障害があるので指標も根本から見直す必要があります。指標には会議と表現しないほうが良いと存じます。例：取組研究会など	ご意見を踏まえ「まちづくりの指標」を以下のとおりに修正します。 <u>産学官金連携による事業実施件数</u> 現状値（令和5年度） <u>1</u> 目標値（令和9年度） <u>20</u>
前期基本計画	12	①-10	産学官金連携による新事業の創出	現況と課題	外部環境やニーズの変化が今の時代は早いため新規事業、産業の創出が大事だと思いますが、企業が新規事業に取り組みにくい状況が課題だと思います。	ご指摘のとおりであり、取り組みやすい環境構築を図るため、相談窓口の設置及び専門家紹介等の支援を検討してまいります。
前期基本計画	12	①-10	産学官金連携による新事業の創出	現況と課題	岩手医科大学との連携が難しい気がします。大学との距離は近いですが遠い存在として捉えてる方が多いと思います。	ご意見を踏まえ「現況と課題」について、岩手医科大学を例示せず、以下のとおりに修正します。 <u>町内企業における生産性向上や技術力強化、新事業創出を図るため、大学などの教育機関との共同研究を含め、産学官金連携体制の強化が必要</u> です。
前期基本計画	12	①-10	産学官金連携による新事業の創出	施策の方向	挑戦できる環境を構築することは大賛成です。	地域課題解決も含め、積極的に環境構築を図ってまいります。
前期基本計画	12	①-10	産学官金連携による新事業の創出	施策の方向	現況と課題に記載の地域課題解決に直結する新たな事業が必要だと考えます。連携の仕組み作りが大事だと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	12	①-10	産学官金連携による新事業の創出	まちづくりの指標	会議の件数も必要だと思いますが、連携した件数も指標に入っているといいと思います。	ご意見を踏まえ「まちづくりの指標」を以下のとおりに修正します。 産学官金連携による事業実施件数 現状値（令和5年度） 1 目標値（令和9年度） 20
前期基本計画	13	①-11	次世代への勤労観・職業観の醸成並びに地域企業への就業促進	まちづくりの指標	小中高を合わせて年間に300人、4年間の累積数では1200人を目標して欲しい。 インターンシップ&課外授業等 根拠 300人以上/年：小・中・高短大100人/年	ご意見を踏まえ「まちづくりの指標」の目標値を以下のとおりに修正します。 目標値（令和9年度） 1,200人
前期基本計画	13	①-11	次世代への勤労観・の情勢並びに地域企業への就業促進	まちづくりの指標	地域企業への就業者数、就業率などを指標すべきである。	参考意見として承ります。
前期基本計画	13	①-11	次世代への勤労観・職業観の醸成並びに地域企業への就業促進	現況と課題	人材の流出を止めることも大事ですが、流出する人の考え方まで変えることはできないと思います。流出しても戻ってこれる環境づくり（働きたくなる企業）や、地域愛を持ってもらう醸成も必要だと思います。それは、勤労感・職業観も大事ですが地域の人たちが町の良さを伝える、感じれる関わり方が大事だと思います。	ご意見のとおりであり、地域企業の魅力を伝え共有できる機会創出に取り組んでまいります。
前期基本計画	13	①-11	次世代への勤労観・職業観の醸成並びに地域企業への就業促進	施策の方向	企業の課題として人不足はどこ企業も抱える問題なので、地域企業への就業促進は賛成です。また、生きる、働く目的は未来を創る人には重要なので機会を増やして頂けるのには大賛成です。	ご意見を参考に、引き続き積極的に取り組んでまいります。
前期基本計画	13	①-11	次世代への勤労観・職業観の醸成並びに地域企業への就業促進	施策の方向	地域愛（パッション）を創る環境作りも施策の方向だと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	14	①-12	起業家の育成支援	施策の方向	基本的に賛成です。付け足させて頂きます。中小企業の大弱点は「新技術・新商品」の開発力の弱さです。創業時そのままか僅かな進化しかできずに時流遅れとなって廃業になるケースが7割を超えています。その意味に於いて第二創業(新技術・新商品開発)にも育成支援をお願いします。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	14	①-12	起業家の育成支援	まちづくりの指標	基本的に賛成です 付け足させていただきます。 お役立ちセンター内・矢巾町企業対象のインキュベーションセンター(仮称)の創設/どこかの空き部屋程度から開始 ・「企業創業支援」に加え、「新技術・新商品(魅力)開発支援」も足し、支援指標を示して欲しい ・専門家派遣制度の延長も矢巾町独自の支援メニューに加えて欲しい	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	14	①-12	起業家の育成支援	施策の方向	・起業家支援のためには、経営指導員のいる商工会や金融機関との連携を強化すべきである。 ・インキュベーター施設の開設を前期計画内にすべきである。	ご意見を踏まえ「施策の方向」を以下のとおりに修正します。（下線部分追記） 起業家を生み出すマインドの醸成を図り活躍の場を創出するとともに、 <u>商工会や金融機関と連携し、地域全体で起業家を応援する環境を構築します。</u>

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	14	①-12	起業家の育成支援	現況と課題	起業家が減少している理由が課題なのではないでしょうか？起業のハードルが高いとか？高校生との課外授業の時に多く質問が出たのが、なぜ起業したんですか？だったそうです。起業に興味はある人は次世代にもいると思いますが、どうしたらいいのか、何をしたいのか？を小、中、高校生から醸成する必要があると思います。どうしたらいいかわからないなどは、直接高校生に聞いたわけではないので、聞くと課題の本質が見えてくるかもしれません。	ご意見のとおりであり「現況と課題」に「機運醸成の取り組み」と表現しましたが、起業を身近に感じてもらえるよう、次世代と地域経営者との交流機会を増やすなど積極的に取り組んでまいります。
前期基本計画	14	①-12	起業家の育成支援	施策の方向	後継者がいない、事業承継できない企業と起業家とのマッチングも一つの方向だと思います。	ご意見のとおりであり事業実施するうえで参考とさせていただきます。
前期基本計画	14	①-12	起業家の育成支援	施策の方向	起業家だけではなく、今経営している人の第2創業に広げて支援してもらえると活性化につながると思います。	ご意見のとおりであり事業実施するうえで参考とさせていただきます。
前期基本計画	14	①-12	起業家の育成支援	まちづくりの指標	何のために起業家を育成支援するのか？によって指標が変わるのではないのでしょうか？起業家を作ると移住につながる、地域課題解決につながる、町の税収につながる等色々あると思います。ので補助金の実績件数ではない気がします。起業家の創出件数？	ご意見のとおりであります。指標について町や商工会等で積極的に関わり、かつ正確に実績を捉えやすい件数にしております。ご指摘のとおり、なぜ起業家の育成支援をするのか目的を明確にしたうえで効果的な施策の推進を図ってまいります。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	まちづくりの指標	まちづくりの指標 現状値（令和4年度）にすべきではないか。	令和4年度実績値が令和5年度当初時点の値となりますので、表記方法は現状値（令和5年度）のままとし、令和4年度実績値である旨の説明は削除します。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	現況と課題	本件に反対するものではありませんが、見落とし課題が多く、提言させていただきます。 ・町民でさえ何度も足を運びたくなる場をいかに作るか？の前向きな議論が足りていません。 ・経済面の大原則の観点から本件を視ると、見落とししている大きな問題課題があります。それは年間を通し、採算の取れる客数が見込めるか否かです。企業では雇用面の重大な問題です。 ・有害鳥獣被害対策の推進①-6が充実し安全安心が確保されなければ野山散策は不可能です。 ・西部地区には平安の遺産が多く埋もれています。その解明と実態展示も重要な観光資産です。 ・西部地域の観光も大切ですがその前に取り組むべき重要な施策があります。それは西部地域の無計画な虫食い状態で乱立している企業進出です。一刻も早く、町が西部開発ビジョンを示し計画的な開発を進めるべきです。8次総の前期を逃したら取り返しのつかない手遅れになります	何度も足を運びたくなる場所、経済活動として成り立つ観光地など、ご指摘のとおり課題があると感じております。現時点において経済波及効果など観光地として難しいところがございますが、まずは町民が足を運びたくなる場所、町外から矢巾に行ってみようといっていただけ場所を目指して、煙山ひまわりパークを始めとして更なる環境の充実を図るべく、事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	施策の方向	・多くのあらたな課題を明らかにしてから施策の方向を策定するべきです。 ・観光とは何かを深めてみませんか。歴史遺産や、イベントだけではなく、行ってみたいくなる町の要素は産業視察も観光の一つでしょう。西部の産業を活性化するビジョンづくりも始めてみましょう。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	まちづくりの指標	・あらためて課題面を洗い出せば、単に予想来訪人数を提示しても産業に結び付きません。何にどれだけ取り組むべきかを指標にすることが次段の振興や好循環につながると存じます。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	現況と課題	町内の立地や今ある観光資源を生かしてないのが課題なんではないでしょうか？	参考意見として承ります。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	施策の方向	フォトコンテストなど、町内の発信を勝手にやってもらう仕組みが必要だと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	施策の方向	人が来てくれる観光だけではなく、来た人がお金を使う観光にしていけないと思います。（滞在時間を長くする仕組み）観光と産業が組んでやらないと本当の観光活性化につながらないと思います。施策の方向として、一民間事業者だけと連携と記載するのはどうなのでしょう？気になりました。	現時点において経済波及効果を求める観光としては難しいところもあり、まずは町民が足を運びたくなる場所、町外から矢巾に行ってみようといっていただけ場所を目指して、更なる環境の充実を図るべく、事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	SDGsゴールとの関わり	連携と入っているので 17 パートナーシップで目標を達成しようも入れてはどうでしょうか？	ご意見を踏まえ追加させていただきます。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	まちづくりの指標	西部地域の観光活性化の指標は観光客だけではなく、町民の利用促進（温泉やキャンプ場など）についても定めてみてはどうか。	指標の「西部地域の観光客入込数」には、国民保養センターや町営キャンプ場の町内外における利用者数も含んでおりますが、町民の利用促進の観点について事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	15	①-13	西部地域の観光活性化	まちづくりの指標	来場者数だけではなくてどれほどの経済効果があったのか。収益はどれくらいを目的とするのか。観光客がどれくらいお金を落としたのが重要であり、そこを指標にするべき。	現時点において経済波及効果を求める観光としては難しいところもあり、現状は母数となる観光客数の拡大に注力が必要な段階と認識しております。まずは町民が足を運びたい場所、町外から矢巾に行ってみようといっていただけ場所を目指して、更なる環境の充実を図るべく、事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	16	①-14	観光情報の発信強化	現況と課題	発信も大事な要素ですが、前項①-13で課題が山積していることを少しでも解決できる状態にならないと情報発信は意味をなさないと存じます。	ご意見として承りますが、町の自然景観や歴史文化、様々なイベントなど、情報があつてよかったといっていただけよう努力してまいります。
前期基本計画	16	①-14	観光情報の発信強化	施策の方向	矢巾町だけの観光情報だけではなく周辺市町村の魅力までも取り込んで行って見たい魅力に繋げるしたたかな戦略も大事です。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	16	①-14	観光情報の発信強化	まちづくりの指標	大原則である前項の課題を解決することが先決ですが単に発信回数だけを指標にせず、戦略的な取り組み方も指標に入れるべきです。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	16	①-14	観光情報の発信強化	現況と課題	発信の強化よりも観光資源が少ないことが課題なんではないでしょうか？	観光資源が豊富とは言えないなかで、町の自然景観や歴史文化、様々なイベントなど、情報があつてよかったといっていただけよう努力してまいります。
前期基本計画	16	①-14	観光情報の発信強化	現況と課題	以前よりは交流人口が増えたと思いますが、交流人口というより矢幅駅の活用人口が増えたと考えた方がいいと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	16	①-14	観光情報の発信強化	施策の方向	矢幅駅の活用人口をどのように取り込むか？の検討が必要だと思います。町内滞在時間を増やすことも考える必要があるのでは？	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	16	①-14	観光情報の発信強化	施策の方向	今現在の窓口対応の件数は年間何件ありますか？どのような方が窓口を訪れているのか？によってニーズを集約できるかできないかに関係すると思います。	地域情報発信ステーションには、駅利用者がフラット寄り場合や、定期的に情報を確認に来られる方など、日に20～30人程度の利用がございます。
前期基本計画	16	①-14	観光情報の発信強化	まちづくりの指標	指標の目標値が少ないのはなぜでしょうか？窓口活用してもらえ戦略を指標に入れる必要があるのではないのでしょうか？	参考意見として承ります。
前期基本計画	17	①-15	特産品の開発支援	現況と課題	他所にも沢山あるもので、なんら特色のない矢巾町の特産物だらけです。そこに本町の企業が特別な加工をして、多くの人々が欲しがると特産品にする技が現状のところ極小であることが課題です。PRや情報発信の前に開発力不足が大きな課題と存じます。	ご指摘のとおり、売れる商品を開発することは非常に困難なことでありますが、知見のある民間企業の協力をいただきながら、より良い特産品の開発と支援に努めてまいります。
前期基本計画	17	①-15	特産品の開発支援	施策の方向	【確認】特産物(その地で取れる物)に手を加えて特産品(その地で加工した品)に、それが有名になり名産品へ 基本的に賛成です。少し提言をさせていただきます ・課題解決のためにとる手段が施策であり、その課題の根本が開発技術力不足です。その解決策として町内に囚われない連携(パートナーシップ)を掲げていることは重要な施策と賛同します。更に付け足せば、一次、二次三次の全産業の立体的産物と意識した支援施策が重要です。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	17	①-15	特産品の開発支援	まちづくりの指標	指標と施策が噛み合わない感があります。開発件数だけを示しても取組手段とその目標数も示せば闘いやすいでしょう。取り組む企業にとって分かり易い行動と支援の目標をお示しください。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	17	①-15	特産品の開発支援	現況と課題	PRする前に、矢巾町の立地や独自性を掘り起こし、開発、育てることに支援することが重要だと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	17	①-15	特産品の開発支援	施策の方向	地元企業と取り組むことで活性化につながると思います。小売業の地元企業は、厳しい経営環境で販売する商品で困っているので一緒に開発することで、企業の知識、販売能力等のスキルアップにつながるのぜひ検討していただきたいです。町内企業でできないから他地域に頼むのではなく、地元企業を支援して作れるようにしていくことで産業が生まれてくると思います。	参考意見として承ります。
前期基本計画	17	①-17	若者の参加促進	施策の方向	賛成です。若者だけで作るイベントの開催や若者が集まりたくなるイベントの企画を進めて欲しいです。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	18	①-16	移住促進と関係人口拡大	施策の方向	別なもう一つの視点として、「流失人口の抑制」も掲げていただきたいです。難しい施策ですが重要な事であります。どうして矢巾町から出ていくのか？を明確に掴むことでしか対応策は編み出せません。その為の指標も重要な戦略となりますので、併せてご対応をお願いします。	転出抑制については個人の権利にも関わることから、慎重に検討すべき事項と考えます。転出理由を探ることに限っては事業推進上のご意見として承ります。
前期基本計画	18	①-16	移住促進と関係人口拡大	まちづくりの指標	転出抑制にかかる施策の目標指標も考えていただきたい。	ご意見を踏まえ指標を再検討し、転入転出を合わせた社会増の人数を指標とします。 ・社会増人口 0→750人（累積値）
前期基本計画	18	①-16	移住促進と関係人口拡大	まちづくりの指標	・年間転入者数 目標値（令和9年度）1,100は、大規模宅地開発が3地区（計33.3ha）進んでいることから推測すると低過ぎる。 ・「年間転出者数の低減」も指標とすべきである。	ご意見を踏まえ指標を再検討し、転入転出を合わせた社会増の人数を指標とします。 ・社会増人口 0→750人（累積値）
前期基本計画	19	①-17	若者の参加促進	現況と課題	現況が記述されていないので、問題課題が見えなくなっています。ありがたい姿が浮いています。	ご意見を踏まえ、現況部分に関する記載を修正します。 （旧）「若い世代のまちづくりへの関心と、積極的な参加への移行が確認できることから、若い世代が活躍できる場を…」→（新）「これまでの住民ワークショップなどを通じて、まちづくりに関心の高い若者が増えていると考えられることから、若い世代が活躍できる場を…」
前期基本計画	19	①-17	若者の参加促進	まちづくりの指標	掲げたお題と課題のわりに、達成しやすい指標で纏めています。担当する人が行事としてしか意識できない気がします。より意味ある集会として示すことに加えて、開催数も最低でも4回/年で令和9年までの4年間に累積回数で16回は開催して欲しいものです。フューチャーデザインで未来戦略を策定するには若者の声を重要な手がかりとすべきです。	素案では比較的大規模な参加型イベントを想定していたところですが、若者の声を聞く機会を数多く設けることが有効と考え指標を修正します。 ・若者の意見を聞く集会の開催回数 0→16回（累積値）
前期基本計画	22	②-2	地域コミュニティの在り方の見直し	現況と課題	コミュニティは住む中でなんで必要なんですか？人それぞれ意見があると思います。矢巾町は、東日本大震災の発災から沿岸地方からの移住された方も多くいると思います。その中で、一部ですが移住された方から聞いたお話で、「コミュニティがなく住んで寂しい」「スーパーでたまたま以前沿岸で住んでいた人と会って、その人も矢巾に住んでて会えて嬉しかった」とお聞きしました。移住してきた方でもコミュニティは重要だと思います。	ご意見のとおり、地域コミュニティは町民の方々の生活にとっても重要なものと考えております。事例も含め施策の参考とさせていただきます。
前期基本計画	22	②-2	地域コミュニティの在り方の見直し	施策の方向	例えば、移住してきた地域の人たちで交流の場を作りコミュニティを作るなどして少しずつ広げて、以前から住んでいる人との交流する場を持っていいと思います。矢巾町と同じような街が福島県にあります。コミュニティの構築のヒントになると思います。以前視察で行きまして、大変参考になりました。	ご提供いただいた事例を事業推進上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	22	②-2	地域コミュニティの在り方の見直し	施策の方向	矢巾町はスポーツ交流があります。盛岡市にはない、いい町民交流機会だと思います。年代別などの仕組みをとり交流することでコミュニティが作られ、子供たちの記憶にも残り戻ってきたくなる印象も持つことができると思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	24	②-4	障がいの有無によらない地域共生社会の促進	現況と課題	障がい者だけではなく、ひきこもりの方の社会復帰も課題だと思います。	ご意見にあります「ひきこもりの方の社会参加支援」は取り組むべきことの一つとして捉えております。その取り組みとして、施策②-34に記載している重層的支援体制整備事業において、自宅訪問等による支援者等との構築を行う「アウトリーチ等を通じた継続的支援」、また社会とのつながりづくりに向けたマッチングや定着支援を行う「参加支援事業」を実施しております。今後も支援体制の一層の充実を図ってまいります。
前期基本計画	24	②-4	障がいの有無によらない地域共生社会の促進	施策の方向	障がい者と企業の結ぶ支援が必要だと思います。	障がい者の法定雇用率が段階的に引き上げられ、今後ますます障がい者と企業を結ぶ支援は必要となります。町では、岩手障害者職業センターやハローワークなど就労支援を実施している関係機関と連携を図り、障がい者と企業を結ぶ就労支援を行っております。ご意見を踏まえ、引き続き障がい者の就労支援に努めてまいります。
前期基本計画	30	②-10	フリモント町との国際交流の推進	現況と課題	フリモントとの交流については賛成であり、異論はございません。加えさせていただければ、音楽交流でオーストリアとの交流があります。オーストリアは音楽以外にカーボンニュートラルの先進国でもあります。エネルギー自給自治区(シュタットベルケ)の先進国です。現状ではそのことで交流が無く、今後矢巾町が目指して欲しいモデルのフォアールベルクとの交流も今後の課題です。	オーストリアとの交流は大切であり、音楽交流で、3自治体（栃木県那須塩原市、山形県長井市、矢巾町）で万博のモデル事業としてオーストリアと、中学生の合唱交流を行います。音楽以外の交流についても事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	30	②-10	フリモント町との国際交流の推進	施策の方向	現況の施策に賛成で異論はございません。同上の課題施策として付け加えさせて頂ければオーストリアのフォアールベルクとの交流も後の③-1のカーボンニュートラルの施策とリンクします。 参考 オーストリア フォアールベルク州 ロルンビルン市 エネルギー研究所の取り組み	参考意見として承ります。
前期基本計画	30	②-10	フリモント町との国際交流の推進	まちづくりの指標	町民と町内企業に向けた周知イベント(タイトルも重要)も2回/年程度を希望します。	参考意見として承ります。回数については、検討させていただきます。
前期基本計画	36	②-16	個性を伸ばし、生涯にわたる学びを支え、持続可能な社会を担う人づくり	まちづくりの指標	指標のアンケートで評価される項目について（特にいじめはいけないと思う児童数）は本当に心で思っていることが反映されるのかわからないのではないかと??について回答することもあるのではないかと。	道徳科の目標に「道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」とあることから、多様な考えに触れることを通しよりよく生きるための在り方を考えていきます。よってアンケート時の思いが真の思いかどうか以上に、その後の態度に表れていくように学校では指導しています。
前期基本計画	36	②-16	個性を伸ばし、生涯にわたる学びを支え、持続可能な社会を担う人づくり	まちづくりの指標	指標でICT機器を週3日以上使用した割合としているが、ただ使用しただけでなくその先の効果（教師の負担軽減や学力の向上など）を指標とするべきではないかと。	ICT機器使用の捉えとして、各教科等における育成したい資質・能力を高めていくことや指導者の資料作成労力の軽減が含まれております。
前期基本計画	50	②-30	子ども・子育て支援の充実	現況と課題	矢巾町3万人構想、少子高齢化の課題に直結する大変重要な施策だと思います。	参考意見として承ります。
前期基本計画	50	②-30	子ども・子育て支援の充実	施策の方向	満足度28.1%から50%へ上げるには、子育て等の何に不満足なのかを聞いて、多様な支援をしないと目標値にならないと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	51	②-31	児童虐待防止体制の充実	まちづくりの指標	こども家庭センターは令和5年度時点ですでに設置予定としているために他の指標にすべきである。例えばヤングケアラーゼロとか。虐待相談件数とか。	ご意見を踏まえ、「ヤングケアラー認知度 19.6%⇒80%」と修正します。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	52	②-32	自殺対策の推進	まちづくりの指標	まちづくりの指標をゲートキーパーよりも自殺死亡率にすべきでは。	ご指摘いただいた点について、当町の人口規模の場合、1件の発生により自殺死亡率が大きく変動することから、評価指標として適当ではないと考えております。参考意見として承り、原案どおりとさせていただきます。
前期基本計画	53	②-33	福祉を支える人材の育成	現況と課題	町や地域の実施する事業の協力者を増やすことが目的なんでしょうか？ 人材の育成が目的で増やすのは手段であると思います。	ご意見を踏まえ、「現況と課題」について「・・・周知啓発を図り、町や地域が実施する事業の協力者などを育成するため、矢巾町社会福祉協議会と連携しながら・・・」と修正します。
前期基本計画	55	②-35	道路整備の推進	施策の方向	補修や改良は地元企業に！！地元企業を活用することで、地域のお金を地域で回すことにつながり雇用やスキルアップにもつながると考えます。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	56	②-36	河川の整備	現況と課題	【加えていただきたい点】 一級河川の雑物除去作業に於いても高齢化問題が影を落としています エンジン刈払い機等の機械を持っている住民は農家が主流であり、それが高齢化して河川内の中州の草や木を刈るのが困難になってきています。新住民は道具が無いことを理由にほとんど参加しません。高齢者が事故に至る前に町の対策を希望します。	現在、一級河川の雑物除去作業については県から町が委託を受けて、町が地元自治会に再委託を行っております。他地区でも、雑物除去作業の高齢化に対する意見が出されてきていることも事実なので、河川管理者である県と協議し、今後のあり方について検討してまいります。
前期基本計画	56	②-36	河川の整備	施策の方向	御呈示の施策名でもいいですが、具体性に賭けて計画がずれそうに感じます。よって河川内の物(中州等)の定期的除去も施策名として見えるように示していただきたいです。	河川の整備計画については、整備の進捗が図られるよう引き続き取り組んでまいります。 一級河川の中洲等の定期的除去については、ご意見を踏まえ、施策として取り入れられるか、河川管理者と協議してまいります。
前期基本計画	56	②-36	河川の整備	まちづくりの指標	障害物(中州等)の定期的除去も数値化して指標にしていきたいです。	一級河川の中洲等の定期的除去については、ご意見を踏まえ、河川管理者と協議してまいります。
前期基本計画	57	②-37	町営住宅の在り方の検討	施策の方向	計画段階から、官民連携によるPFI手法による集約化や長寿命化を検討すべきである。	供給戸数を含め町営住宅の在り方を見直すこととしておりますので、新築や大規模改修を検討する場合にあっては、ご意見を踏まえ検討を進めてまいります。
前期基本計画	57	②-37	町営住宅の在り方の検討	施策の方向	入居者の状況にも配慮→将来必要であるか？増えるのか減るのかを考えてみてはどうでしょうか？	参考意見として承ります。
前期基本計画	57	②-37	町営住宅の在り方の検討	施策の方向	維持管理のランニングコストと併用で考え、②-38の空き家問題と一緒に考えてはどうでしょうか？	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	60	②-40	コミュニティ公園の在り方の見直し	現況と課題	必ずしも遊具があるとは限りません。またその公園のそもそもの誕生のいきさつを見れば、住宅地の為だけに作ったとは思えないところがあります。商工業地造成に係る法的条件の下で公園を作りその保全管理は地域住民に負わせているのが現状です。コミュニティの中で不満の議論が出ており、今後には該当地域の企業の保全参加や支援を望んでおります。	遊具については、現状で遊具が無い公園も含め町内全域を視野に入れた配置の再検討が必要と考えています。保全管理につきましても多様な意見があると認識しておりますので、全般的に見直しを図ってまいります。
前期基本計画	60	②-40	コミュニティ公園の在り方の見直し	施策の方向	保全管理に地域事情に合わせて企業等の参加又は支援を施策に組み入れていただきたいです。	現状では企業と公園の関係性は地域により様々と認識しており、今後の状況を見極めながら判断してまいります。
前期基本計画	60	②-40	コミュニティ公園の在り方の見直し	まちづくりの指標	【加えて欲しい事】 関係する企業の参加と支援数	現状では企業と公園の関係性は地域により様々と認識しており、今後の状況を見極めながら判断してまいります。
前期基本計画	60	②-40	コミュニティ公園の在り方の見直し	施策の方向	道具の老朽化により怪我等の防止は大事だと思います。然り新しい遊具が必要なのかは疑問です。公園の活用の仕方を考えるべきだと思います。昔よりボールを使える公園がない気がします。使用する人のニーズを捉える必要があると思います。	いただいたご意見も含め公園の使い方や遊具の必要性については多様な観点があると思われますので、見直しの中で最適なあり方を検討してまいります。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	60	②-45	地域における避難体制の構築	施策の方向	雨、地震、洪水、地滑り等で災害が増え、多様化している中で、避難場所が避難場所に適しているか確認が必要だと思います。	避難場所については、各種災害のハザードマップ等を考慮し、災害の種類に応じて適する避難場所を矢巾町地域防災計画により定めております。今後は、ハザードマップの見直しや新規追加等に応じて、適宜修正を検討してまいります。
前期基本計画	60	②-45	地域における避難体制の構築	施策の方向	災害が起きた際、協力体制（企業、医療）物資の受け入れ場所など明確にして備えることも必要だと思います。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	61	②-41	公共交通の充実	現況と課題	その通りと賛同します。少し付け加えさせていただきます。今後団塊の世代が80歳代に入る令和10年(2029)以降の免許返納者数は急激に増加することが予測されます。	参考意見として承ります。
前期基本計画	61	②-41	公共交通の充実	施策の方向	現行のデマンドタクシーやコミュニティバスはJRや公共バス路線とのアクセスを意識していないので不便な地域公共交通システムです。JR等とのアクセスを考慮し、長期的に町内全域に進化をさせる意味でも国の募集してるレベル4の無人バスにチャレンジしてみたいものです。	JRや路線バス等とのアクセスは地域公共交通会議等の中で可能な限り最適な接続となるよう調整が図られており、今後も関係機関と協議しながら改善に努めてまいります。無人バスは施策④-13「情報化社会の進化に対応した業務効率化と住民サービス向上（DX）」の中で可能性を模索してまいります。
前期基本計画	61	②-41	公共交通の充実	まちづくりの指標	利用者数の指標は10倍レベルを目指す施策にして欲しいものです。	参考意見として承り、指標を上回る利用者数の増加に努めてまいります。
前期基本計画	61	②-41	公共交通の充実	全体	SDGs 11に加えてSDGs 9の思考を取入れ、他の地域から見に来たくなる無人バス導入計画を！	事業実施上の参考とさせていただき、施策④-13「情報化社会の進化に対応した業務効率化と住民サービス向上（DX）」の中で可能性を模索してまいります。
前期基本計画	61	②-41	公共交通の充実	施策の方向	デマンド型は電話するのも難儀でまた、運転手により対応も様々であり、悲しい対応をされることもある。交通弱者へのきめ細かい対応を推進するとあるが、デマンド型交通が交通弱者への優しい対応であるのか疑問である。	デマンド型交通は一般的に、日常の移動手段に乏しい交通弱者を支える手段としては利便性の高い形態と考えられております。使い始めの初期段階で煩雑さを感じられる方が比較的多いと思われるので、きめ細かい支援に努めるとともに、事業者の対応については改善を指導してまいります。
前期基本計画	61	②-41	公共交通の充実	まちづくりの指標	コミュニティバス・デマンド型交通の目標値が現状値に対して微増程度ではないか。	全国的に公共交通の利用者が減少傾向にある中で、本町においても4年間での急激な増加は現実的に難しいと認識しております。まずは必要とする方に着実に利用していただけるよう改善を進めながら、持続可能な公共交通として定着を図ってまいりたいと考えております。
前期基本計画	65	②-45	地域における避難体制の構築	施策の方向	避難行動要支援者名簿の「者」が抜けている箇所がある。	「者」の脱字を修正します。
前期基本計画	69	②-49	消費者被害の防止	施策の方向	広報誌は雑誌ではないので広報紙ではないのか。	「広報紙」の誤りでしたので修正します。
前期基本計画	72	③-1	脱炭素、カーボンニュートラルに向けた取り組み推進	現況と課題	その通りと賛同します。少し付け加えさせていただきます。化石燃料依存の削減方法は多様がありますが当町の場合は製造業が少ないので自動車の燃料と生活や事業所で消費される熱源としての燃料です。特に北東北における空調と給湯の熱源比率が大で建物内消費の全熱源の75%と言われています。この熱の削減が課題です。	今後策定予定の計画及び事業実施の参考とさせていただきます。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	72	③-1	脱炭素、カーボンニュートラルに向けた取り組み推進	施策の方向	賛同致します。少し付け加えさせていただきます。上記の如く空調と給湯の消費熱削減がGX戦略上で有効な手段となります。その手段の中でも空調熱源の削減が最有力で、その方策が熱漏洩対策であり、建物の熱効率を向上させる高断熱化です。世界で一番寒い家に住んで居るといわれる日本北三県の地の矢巾町でもあります。我家、我職場の熱漏洩の抑制無くしてGXに取り組んでいると云えません。ジャジャ漏れの熱漏洩を止めずしてエネルギー自給向上は有り得ません。熱漏洩抑制の観点で「断熱改修」こそ町民と職場が取り組める最短最善のGXであると存じます。矢巾町の熱消費と熱漏洩の実態を分析したうえで有効な促進支援施策をお願いします。	今後策定予定の計画及び事業実施の参考とさせていただきます。
前期基本計画	72	③-1	脱炭素、カーボンニュートラルに向けた取り組み推進	まちづくりの指標	再エネ発電量の指標だけではGX施策は実現できません。より具体的な指標を提示して頂きたいと存じます。例 再エネと高断熱化への取組支援数(お役立ちセンターのエビデンス支援など)	当該指標は、町が脱炭素社会を目指すうえでのスタートアップとして展開している「重点対策加速化事業」の目標値となっております。GX施策に関しては、令和6年度に策定予定の「地方公共団体実行計画（区域施策編）」において、町民及び事業者も含んだ温室効果ガス排出量削減の具体的な指標を提示いたします。
前期基本計画	73	③-2	農地と田園風景の保全	まちづくりの指標	まちづくりの指標、現状維持が目標でいいのか。	多面的機能支払交付金事業を活用する団体については既に休止したい等の相談もあり、維持することを目標であることがマイナスな考えとは捉えていないところです。このため現状維持をそのまま目標とします。
前期基本計画	75	③-4	自然に親しむ機会の充実	現況と課題	その通りと賛同致します。少し付け加えさせていただきます。 「④-6 有害鳥獣被害対策の推進」で述べた通りこの安全と安心が担保されないうちは自然に親しむことが難しいので本件でも安全安心の確保を課題として言及して頂きたいと存じます。	ご意見を踏まえ、「【施策の方向】町内での有害鳥獣の出没に注意し、安心安全の環境を確保した上で、町内の豊かな自然に親しむことができる、野外活動などの体験学習の機会を増やします。」と修正します。
前期基本計画	77	③-6	ごみ処理広域化に向けたごみの減量化及び資源化の推進	施策の方向	減量化と同時に資源化をすることで、ごみを遠くの焼却場へ持って行くよりは地元で資源化することにより環境配慮にもなると思います。資源化（農業用肥料に変えていく）地元農家に無料で配布等することで循環になると思います。	焼却量を減らすために、更なる資源化を推進する施策を展開し、環境負荷の低減に努めてまいります。
前期基本計画	77	③-6	ごみ処理広域化に向けたごみの減量化及び資源化の推進	まちづくりの指標	減量化率と資源化率も指標に入れて欲しいです。	本施策の指標は家庭系ごみ（家庭から排出されるごみのうち、資源ごみを除いたもの）の減量化率に置いており、資源化が促進されると当該数値の伸び率に反映されるものとなります。資源化率については個別計画で提示いたします。
前期基本計画	79	③-8	国指定史跡徳丹城跡の魅力発信	施策の方向	徳丹城を中心として文化観光促進法に基づく拠点計画及び地域計画を策定し、ガイダンス施設とあわせて、賑わい創出のための産直、農家レストランなど交流拠点を整備すべきである。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	79	③-8	国指定史跡徳丹城跡の魅力発信	まちづくりの指標	・「拠点計画及び地域計画の策定」を指標とすべきである。 ・「交流拠点の整備」を指標とすべきである。	事業実施上の参考とさせていただきます。

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	79	③-8	国指定史跡徳丹城跡の魅力発信	まちづくりの指標	徳丹城は、1969年（昭和44年）に国指定史跡に指定されて、今年ですでに、“55年”が経過しています。そして、今回の「施策3-8(No.87) 国指定史跡徳丹城跡の魅力発信」が下記となっています。 「【現況と課題】 町内外に向けてその魅力の発信を強化することが求められています。【施策の方向】 歴史的価値を生かして観光拠点や憩いの場としての活用を進めます。【まちづくりの指標】 徳丹城跡に関するイベントの参加者数 現状値 400人(令和5年度) 目標値 600人(令和9年度)」 ”目標値600人/年”というのは、現状、昨年マルシェイベント2回くらい開催するだけで達成できてしまい、それを、4年後の目標として「観光拠点や憩いの場としての活用を進めます。」とするのは、やはり今後も現状何もしないということでしょうか？ 昨年は、イベントとしてマルシェや音楽フェスを実施していましたが、一時的なイベントで「徳丹城跡の魅力の発信」「観光拠点や憩いの場」として展開定着は難しいと思われま。常設としての交流拠点（マルシェ、農家レストラン、産直などの整備）を開設して、常時人々が集う場所となるような施策にするべきだと思います。	現状値及び目標値については、イベントの「来場者数」ではなく、イベントの「参加者数」としておりましたので、令和5年度の現状値は400人となっております。 来年度も今年度実施したイベントを行うこととしており、他にも魅力発信となる事業について検討してまいります。
前期基本計画	82	④-1	町の状況に即した土地利用計画の策定	現況と課題	盛岡南道路に係ること以外にも土地利用の問題はたくさんあります。矢巾町主導で一刻も早い土地利用ビジョンをお示しいただくことが重要と存じます。西部地域の商工業地開発や周辺の農地や土地、道路などのビジョンを示さなければ、個々バラバラな計画が進み手遅れになります。	事業実施上の参考とさせていただきます。
前期基本計画	82	④-1	町の状況に即した土地利用計画の策定	施策の方向	本計画で町が土地利用に関するフューチャーデザインでその40年ビジョンを示すべきです。	令和5年度に実施している矢巾町都市計画マスタープランの一部改定において、フューチャー・デザインの考え方を取り入れ、15年後（2038年（令和20年））のビジョンを示すこととしております。
前期基本計画	82	④-1	町の状況に即した土地利用計画の策定	まちづくりの指標	40年ビジョン策定と実行計画策定の行動を指標に掲げていただきたい。	令和5年度に実施している矢巾町都市計画マスタープランの一部改定において、フューチャー・デザインの考え方を取り入れ、15年後（2038年（令和20年））のビジョンを示すこととしております。
前期基本計画	89	④-8	未来に強い行政経営の促進	施策の方向	その通りと賛同します。少し付け加えさせていただきます。 具体性のない「務める」という努力指標では実行が出来ません。この時点で具体的なことを企画できなければ、せめてその為に町民と議論の場を多く設けるべきと存じます。	ご意見を踏まえ、「フューチャー・デザインなど最新の社会技法を取り入れるよう努め、少子高齢化など、人口課題に向き合った持続可能なまちづくりを図ります。」と修正します。
前期基本計画	89	④-8	未来に強い行政経営の促進	まちづくりの指標	議論は誰とするのか？またその回数が累積地で前向きの数値になっておらず、少なくとも前期4年で12回以上は実施して頂きたいです。（議論は多いほど磨かれます）	フューチャー・デザインワークショップを活用する事業の内容に応じて、関係者や町民から参加者を募り議論を行う予定としております。実施回数は内容により異なると考えられることから、まちづくりの指標としては、フューチャー・デザインの考え方を取り入れる事業数とし、原案通りとさせていただきます。
前期基本計画	93	④-12	健康保険制度の適正な運営	まちづくりの指標	まちづくりの指標 単位「%/年」は「%」だけでいいのではないかと。	他の指標と表示形式を揃え、%に修正します。
前期基本計画	98	④-17	水道事業の有収率向上	まちづくりの指標	まちづくりの指標 現状値（令和4年度）にすべきではないかと。	令和4年度実績値が令和5年度当初時点の値となりますので、表記方法は現状値（令和5年度）のままさせていただきます。
前期基本計画	-	全体	-	-	民間企業(産業)から見た【現況と課題】(現状認識)に差異を感じるところが散在します。視点の差異の根源には経済界、産業界関係の方々との意見交換不足を感じます。計画は修正しながら進めていくことで優れた戦略になり得ます。ぜひ産業の方々との意見交換の場を多く開催しながら進めていただきたいと存じます。(例：商工会あり方検討会、円卓会議など)	参考意見として承ります。

2. 前期基本計画（案）に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
前期基本計画	-	全体	-	-	上記の現状認識と同様に【まちづくりの指標】についても大きな差異を感じます。本指標は企業経営に例えれば目標値であります。戦略における重要な目標にズレが有ってはなりません。この指標は取り組み方や予算にも影響を与え、結果に重大な影響を及ぼします。それほどに重大な指標ゆえに、単に会議やイベントの回数などで示してはならないと存じます。本来の理念に立ち戻り、産業の発展が町民の幸福につながる指標に掲げて頂きたい。上記同様に産業界の方々との意見交換を密にして取り入れて頂ければ幸いです。	参考意見として承ります。
前期基本計画	-	全体	-	-	【総合計画】P3のとおり、「実行計画」がないので、コメントができないし、これをもって、町民各位は納得されるか不安。せめて、「いわて県民計画第2期アクションプラン（素案）」のように、「いつ頃、何をするのか」がわかる「工程表」を記載すべきと考える。	具体的な工程表等は、各分野別計画の中で定めるものとなります。町民の皆様に分かりやすくお示しする方法については、いわて県民計画アクションプラン等を参考に検討してまいります。
前期基本計画	-	全体	-	-	指標はどのような基準で設定されているのかわからない。【まちづくりの指標】の表の下に、指標設定の根拠を明記した方が町民の理解を得られる。 例 P9の指標「町が関連した町内業者が参加する町内イベントの回数」と施策の柱①-1の「地域経済の好循環の構築」がどう結びつくのか。説明がないので分かりにくい。 また、施策に合わせるなら、イベントによる町内の小売業の売上高の伸びを指標にすべきと考える。 以下、【まちづくりの指標】の設定は施策との整合性と根拠を明確にされたい。	指標につきましては、行政の取り組みによって各施策の進捗が図られたことを示すものであること、また測定が可能なことや4年間での実現可能性などを考慮し設定しております。 例示の①-1に関しては、町内小売業の売上高は把握が困難であることや外部要因の影響も大きいと考えられることから指標化を見送っております。 指標設定の説明につきましては、町民向けに総合計画をより分かりやすく示した普及版冊子を今後作成予定ですので、分かりにくいものには補足説明を加えることを検討します。
前期基本計画	-	全体	-	-	3万人構想、企業誘致は商工業の活性化、連携、宅地推進、少子高齢化、空き家の解決につながると思いますので、人口増、企業誘致には実効性のある施策を検討して頂きたいと思います。	参考意見として承ります。
前期基本計画	-	全体	-	現況と課題	現況が書いてない施策や課題が書いていない施策があるように感じました。特に課題については、本質からずれているように感じる箇所がありました。その課題の中心にいる地域事業者や関係者などのやりとりが薄かったことから課題が出ないことやズレが生じたと思います。町の重要な計画でありますので、もっと近く意見を出し聞き合う関わりに場を持って進めて欲しいと率直に思いました。アンケートでは伝わらないことが多い温度感や熱意を感じれる一面も対面では検討することも必要だと今回感じました。	課題の認識に関しては行政と事業者間で見解が異なる部分もあり得るかと思われませんが、施策を推進する中で相互に対話を重ねながらすり合わせを図ってまいります。その上で総合計画の記載を見直すべき点が生じた場合は適宜修正を検討してまいります。
前期基本計画	-	全体	-	現況と課題	課題が見えないと方向もズレていくと思います。例だと、街灯が少ないのが課題だとすると多くすることが解決だと思ってしまう。課題が街灯が少なく歩行者が危険な場合は、どこに何人の人が危険なのか？交通量はどうか？犯罪につながるか？など深く検討することができます。ぜひ、表面的な課題ではなく、深く本質的な課題を挙げて欲しいです。	分野を絞って多角的に検討を行うことで課題認識はより深まるものと考えられますので、分野別行政計画の策定や見直しなどの機会を捉えて関係者間で検討を行い認識を深めてまいります。
前期基本計画	-	全体	-	まちづくりの指標	指標について 指標の全部にまちづくりとついてますが違和感を感じました。施策に応じて○○○の指標になるのではないのでしょうか？	指標は個々の施策の進捗を示すと同時に、総合計画全体ではまちづくり全般の進捗を測る指標群の一部としての側面を持つことから「まちづくりの指標」と表記を統一しているものです。
前期基本計画	-	全体	-	SDGsゴールとの関わり	SDGsのゴールだけ考えるのではなく、169ターゲットが施策のどこに当てはまるのかを考えると結びつけやすいと思います。	SDGsの169ターゲットは世界規模のレベルで設定されているものが多く、町の施策との因果関係を構築することが難しい面はありますが、可能なものはターゲットとの関連性を意識しながら施策を考えてまいります。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

3. 計画案全体に関する意見

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	ご意見	検討結果
全体	-	-	-	-	総合計画における産業に関する記述が本8次総ほどに掲げられたことはかつてない事であり、感動と感謝をいたしております。令和3年に制定された矢巾町中小企業振興基本条例に意を傾注された計画が多く、特に巻頭から産業部門が始まる編集になっていることに8次総への取り組みの進化が感じられるところです。その意味に於いて本計画が本町と本町産業の発展に貢献できる計画となるように願いパブリックコメントを申し上げます。	参考意見として承ります。
全体	-	-	-	-	7次総合計画より中小企業また地元企業への配慮があり大変感謝致します。また、将来に向けての施策もあり今だけはない先を見越した施策があることに感動しております。	参考意見として承ります。
全体	-	-	-	-	今回のパブコメについて。内容が具体的ではないので、意見しにくい。実施計画などもっと具体的に示してからパブリックコメントを実施すべきではないか。	今回のパブリックコメントは、総合計画の全体的な方針を示す基本構想・基本計画の部分が対象となっております。実施計画としては施策分野ごとに定める各種計画を位置付けていますが、計画ごとに策定・改訂の時期が異なることから、それぞれの計画の策定や改訂の際に個別にパブリックコメントを行うこととしております。
全体	-	-	-	-	文字表記の不揃いがあるため、全体を通してすべて統一すべきである。	全体に標記が統一されるよう修正します。

【資料】第8次矢巾町総合計画（素案）パブリックコメント結果

4. その他、内部検討により素案から修正した部分

資料区分	頁	該当箇所	施策名	項目	修正部分等	備考
前期基本計画	-	全体	-	まちづくりの指標	タイトル欄の「現状値」を「初期値」に修正しました。	「現状値」がいつの時点であるか分かりにくいことから、計画開始時点の値を示すものとして「初期値」と統一するものです。
前期基本計画	14	①-12	起業家の育成支援	まちづくりの指標	現状値を「2人」→「4人」に修正しました。 また指標名称を「創業支援補助金の実績件数」→「創業支援事業補助金の実績件数」に修正しました。	事業実績の精査により現状値が更新されたことを踏まえ、指標設定値を修正したものです。また補助金名称に脱字があった部分を修正しました。
前期基本計画	33	②-13	スポーツのまちの推進	まちづくりの指標	現状値を「700人」→「1,200人」に、目標値を「1,000人」→「1,300人」に修正しました。	事業実績の精査により現状値が更新されたことを踏まえ、指標設定値を再検討しました。
前期基本計画	35	②-15	障がい者スポーツの推進	まちづくりの指標	現状値を「93人」→「350人」に、目標値を「200人」→「500人」に修正しました。	事業実績の精査により現状値が更新されたことを踏まえ、指標設定値を再検討しました。
前期基本計画	36	②-16	個性を伸ばし、生涯にわたる学びを支え、持続可能な社会を担う人づくり	まちづくりの指標	現状値を「小学生84 中学生85」→「小学生99 中学生97」に、 目標値を「小学生88 中学生89」→「小学生100 中学生100」に修正しました。	事業実績の精査により現状値が更新されたことを踏まえ、指標設定値を再検討しました。